

外国人労働者、 県内企業の 3 割で雇用 15.7%は採用を拡大

「教育・コミュニケーション」の課題は依然高水準
国や行政の主導による仕組み作りが必要

三重県・外国人労働者の雇用・採用に対する企業の動向調査 (2025 年 8 月)



本件照会先

服部 光次（支店長）
帝国データバンク
四日市支店
059-353-3411

発表日

2025/10/10

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

三重県内企業では、現在、外国人を「雇用している」企業は 30.5%となり、前回調査(2024 年 2 月)から 5.8 ポイント上昇した。一方、採用拡大の意向がある企業は 15.7%にとどまり、前回から 6.5 ポイント減少した。外国人労働者の雇用・採用における課題では、「スキルや語学などの教育」「コミュニケーション」が依然として高い。外国人労働者の受け入れを推進する政府主導の下、円滑な労使関係を構築する仕組みづくりが必要であろう。

※株式会社帝国データバンク四日市支店は、三重県 307 社を対象にアンケート調査を実施した。なお、外国人労働者の雇用・採用に対する企業の動向調査は、前回 2024 年 2 月に実施し、今回で 2 回目。

調査期間：2025 年 8 月 18 日～8 月 31 日(インターネット調査)

調査対象：三重県 307 社、有効回答企業数は 115 社(回答率 37.5%)

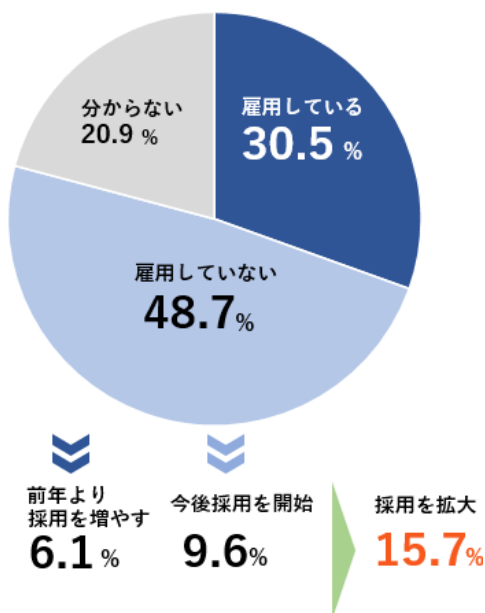
外国人を雇用している企業は 30.5% 物流や小売、サービス業では採用拡大の傾向

三重県内企業に外国人の雇用・採用について尋ねたところ、現在「雇用している」企業は 30.5%となり、前回調査(2024 年 2 月)から 5.8 ポイント増加した。一方で、現在「雇用していない」企業は 48.7%(前回比 4.6 ポイント減)となり、「雇用していない」の低下分が現在「雇用している」の上昇分に概ねシフトする結果となった。なお、全国で「雇用している」企業は 24.7%で三重県はこれを上回り、都道府県別では 3 番目に高かった。

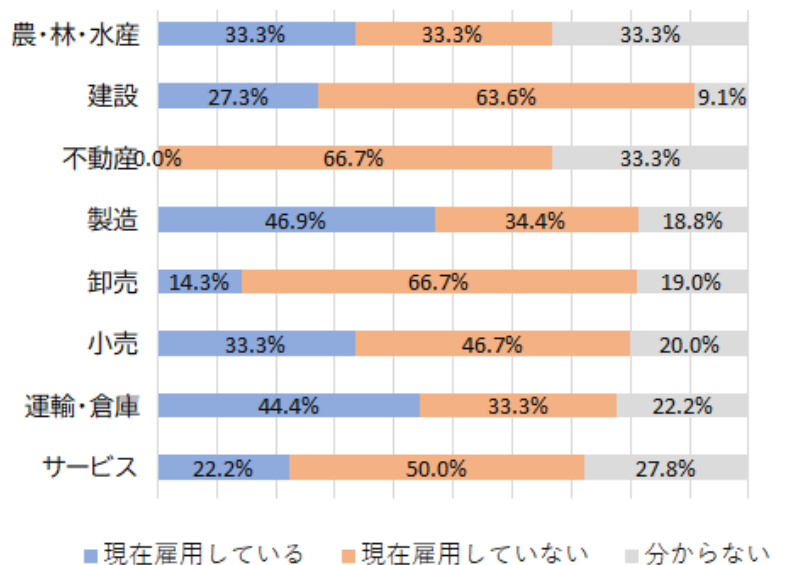
しかし、今後の採用に関しては、現在外国人を雇用しており、かつ採用を増やす意向の企業は前回調査から 1.3 ポイント低下し、6.1%にとどまった。また、現在雇用していないが、今後新たに採用する企業は 9.6%(前回比 5.2 ポイント減)となり、両者の合計 15.7%と前回調査からは 6.5ポイント減にとどまった。

外国人労働者の雇用・採用動向

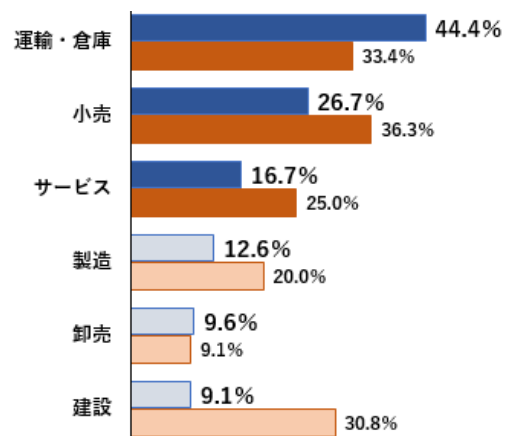
三重県・外国人労働者の雇用・採用動向



業界別：三重県・外国人労働者の雇用・採用動向



業界別：外国人労働者の採用を拡大する割合



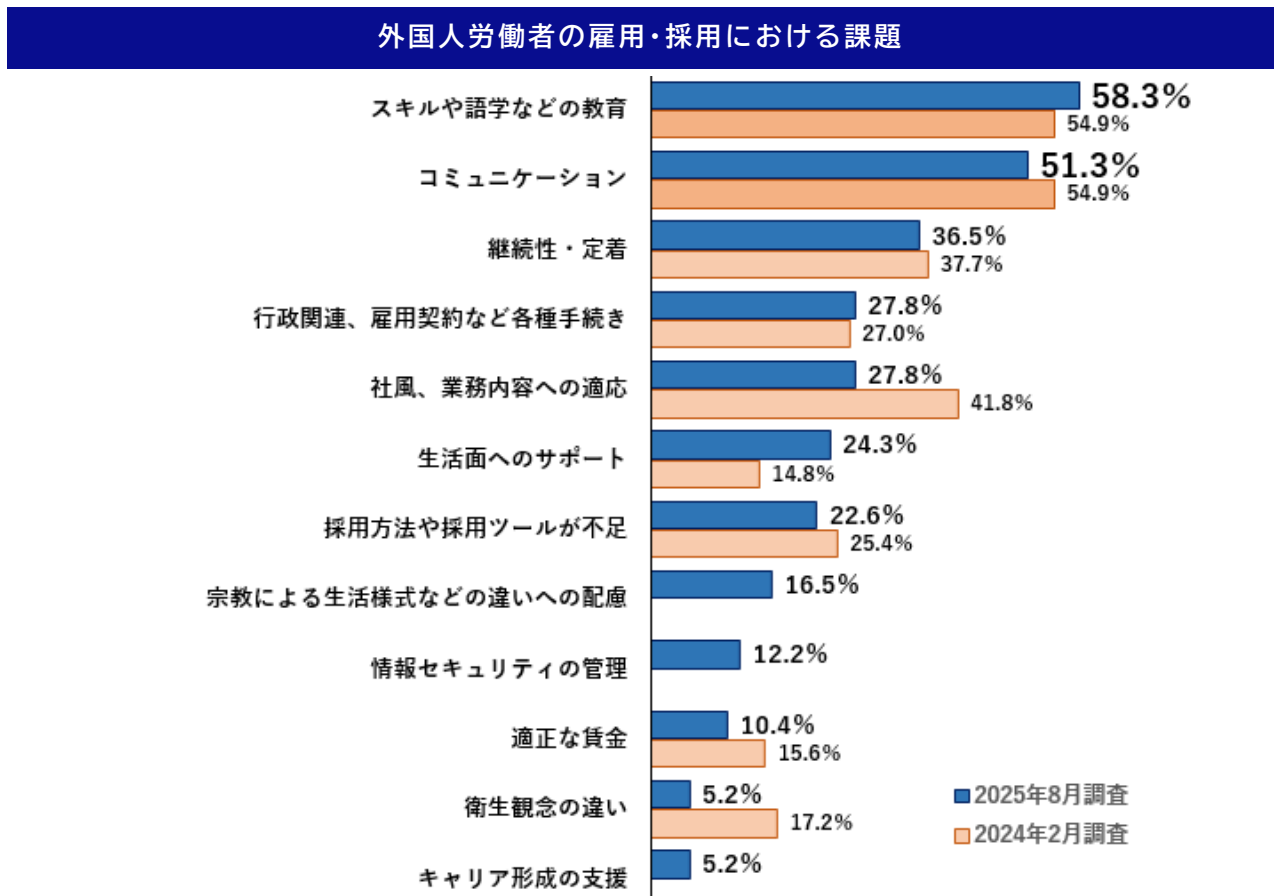
業界別では、外国人労働者を「雇用している」企業は「製造」が 46.9%で最も高く、次いで「運輸・倉庫」が 44.4%、「農・林・水産」と「小売」が 33.3%で続いた。

今後、採用の拡大については、「運輸・倉庫」が 44.4%(同 10.0 ポイント増)でトップとなり、次いで「小売」(26.7%、同 9.6 ポイント減)、「サービス」(16.2%、同 8.3 ポイント減)となった。前回調査と比較して「運輸・倉庫」ならびに「卸売」が採用拡大の意向が上昇したが、上昇はこの 2 業界にとどまった。また「農・林・水産」、「不動産」は前回今回共に拡大の意向が聞かれなかった。

外国人雇用の課題、「教育・コミュニケーション」が突出

外国人労働者を雇用する際の課題について尋ねたところ、「スキルや語学などの教育」(58.3%、前回比3.4ポイント増)と「コミュニケーション」(51.3%、同3.6ポイント減)が50%を上回り、前回調査に引き続き突出して高かった。県内企業の声として、「現在、技術者候補の方に従事してもらっているが、語学面に関しては会社側だけでなく、本人も苦勞している部分大きい」(専門サービス)のように、外国人雇用特有の問題に対して効果的な解決策を講じられず、労使ともに苦勞しているといった実情が聞かれた。

次いで「継続性・定着」、「行政関連、雇用契約など各種手続き」、「社風、業務内容への適応」、「生活面へのサポート」が上位に続き、外国人労働者の雇用に関するルールへの対応や会社への適応、勤労に関する文化の違いなど、様々な課題が聞かれた。

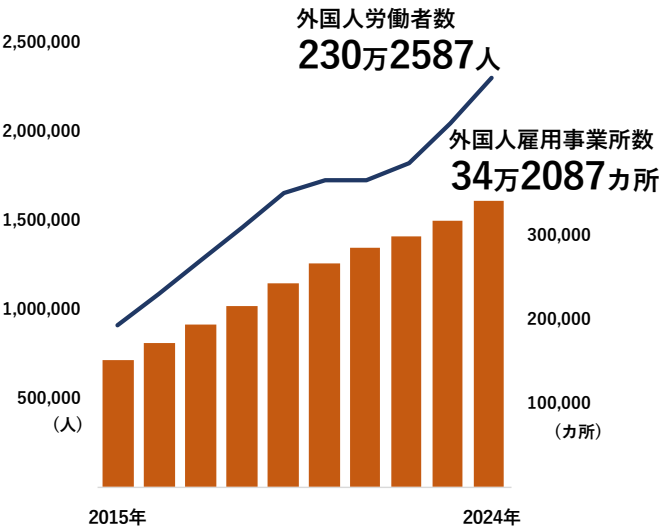


まとめ

本調査の結果、外国人労働者を雇用している三重県内企業は30.5%となり、前回調査から増加したほか、全国と比べても高い結果となった。恒常的に人手不足が続く状況下で県内の基幹産業である製造業や物流業をはじめ、一次産業や小売、サービスなど外国人労働者を広く活用していた。また、外国人労働者の採用を拡大する意向のある企業は15.7%だった。とりわけ、人手不足感が強く、2024年9月に特定技能の分野に自動車運送業が指定されたことにともない物流業界、また個人を主な顧客層とする小売業界(飲食店が含まれる)やサービス業界などでは採用拡大に意欲的な傾向が表れた。これらの業界は人手不足が高止まりしている現状を踏まえると、特に外国人労働者を雇用するニーズは強まると予想される。

一方、三重県全体としては採用を拡大させる意向が低下しており、外国人労働者の雇用・採用における主な課題では、「スキルや語学などの教育」「コミュニケーション」が大きな障壁となっている。今後も外国人労働者への一定の依存は避けられないとみられるが、個々の企業で具体的な解決策を講じるには限界もあるなかで、外国人労働者の受け入れを推進する政府が主導し、円滑な労使関係を構築する仕組みづくりが必要であろう。

<参考> 全国 外国人労働者・雇用事業所の推移



出所：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況について(各年10月)」

<参考> 県内企業からの声

	主な三重県内企業からの声	業種 51 分類
雇用・採用が順調に進んでいる、または前向きな意見	○ 受け入れ機関がしっかりされているので安心している	自動車販売
	○ 好むと好まざるに関係なく外国人の雇用や採用をして行かないと経営が成り立たない	工業用プラスチック製品製造
	○ 日本語の読み書きができる方の採用については、習慣に違いが有っても問題無い	金属製品製造
雇用・採用に困難がある、または要望	● 円の価値を上げて、もっと良い人材が入るようにお願いしたい。警察沙汰含めてトラブルは避けたい	工業用プラスチック製品製造
	● 外国人雇用の県や国の助成金制度を充実してほしい	鉄・スクラップ卸
	● 外国人の雇用については、以前のように賃金コストに有意に働くことはなく、人手不足を補うための人員として確保することを意識して採用することが必要	菓子製造
	● 生産労働人口が減っており、今後も増加傾向にあると思うが、欧米に比べ比較的外国人が少ない日本人社会がうまく対応できるよう行政を上げての地域社会づくりが肝要。民間任せでは犯罪減や共生の道筋に一貫性がなくなる	金属加工機械製造
	● 技能実習生の雇用に関する費用(新たに必要となった JAIM への会費等)が増加。コスト面だけで考えるのであれば、技能実習生の雇用メリットはかなり薄い	プラスチック日用雑貨製造